

はぐくみ



前期の取組を振り返って

北海道七飯養護学校おしま学園分校教頭 湯 谷 教 利

ようやく長い夏が終わりを迎えました。秋分の日を境に、急ぎ足で秋が訪れてきたように感じます。保護者の皆様、おしま学園の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、前期は、地域との連携による数々の取組がありました。小学部と中学部が参加している「四者合同石別ふれあい大運動会」では、石別小学校や石別中学校の子どもと場を共有して一緒に競技することができるよう、分校のルールや用具を使用したり、新たな競技を取り入れたりなどの配慮をいただきました。石別町内会をはじめとする地域の皆様の協力により、今までよりさらに発展した取組となりました。そして、高等部では、地域の役に立ちたいという気持ちで、「当別浜清掃」に取り組みました。

また、北斗市観光課の御紹介によって始まり、今年度で3回目となった「道南いさりび鉄道作品展」では、夏季休業期間を含めて1か月以上に渡り、子どもたちの作品を車両内に展示させていただき、多くの方に鑑賞いただくことができました。

この他にも、各学部では「校外学習」を実施し、小学部はグリーンピア大沼で公共施設の利用、中学部は北斗市や函館市の福祉事業所で就業体験、高等部は大野農業高等学校との交流及び共同学習に取り組みました。夏季休業明けの9月には「一日防災学校」があり、火災の避難訓練の他に、北斗消防署の方を講師として煙体験と放水体験に取り組み、実際に働いている「人」や使用している「物」など、本物を体験することができました。

後期は、保護者や地域の皆様へ御案内している「学習発表会」の他、石別地区観光推進事業の一環である「トラピスト通り並木道ライトアップ」など、地域と協働・体験をする活動があります。ライトアップのためのキャンドルを作り、自分達が作ったキャンドルに火が灯った光景を見て、自分たちの取り組みが人々や地域の役に立っていることを実感してほしいと思います。

今年度、校長より示された学校経営の重点は、「チームで、より子どもたちのためになる学校づくりの推進」です。学校だけではなく、学校運営協議会や保護者、おしま学園、地域の皆様と一緒に、これからもチームとして相談し合い、支え合うことで、より一層子どもたちのために役立てる学校を目指していきます。

これからも、子どもたちが安心して学び、力や可能性を伸ばして成長できる環境を整えてまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

SOZAI GOOD



学習の様子

「小学部の様子」

今年度の小学部の泊を伴う学習では、6年生の「見学旅行」4、5年生の「宿泊学習」を計画しています。今回は、7月10日(木)～11日(金)に実施した見学旅行について様子をお伝えします。今回の目的地は登別方面です。渡島当別駅から列車を乗り継いで登別駅まで行きました。長い時間の列車内も楽しみな気持ちで乗っていたので、あっという間に到着です。見学先の「のぼりべつクマ牧場」「登別マリンパークニ克斯」では、普段接することのない熊や海の生き物をしっかり見学することができました。イルカのショーも間近で見学することができて、みんな大喜びでした。ホテルでの夕食と朝食は、一人ずつの御膳で用意されており、多少緊張しながらも大変おいしくいただきました。次号では、4、5年生の「宿泊研修」の様子をお伝えいたします。

(文責:学部主事 辻)



「中学部の様子」

9月11日(木)晴天に恵まれた中、校外学習に行ってきました。1年生は、函館市港町にある生活介護事業所で、古切手のリサイクル作業を行い、就業体験と働くことに関する質疑応答の場を設けていただきました。2、3年生は、北斗市にある就労継続支援B型の事業所で、袋のシール貼りとクリーニング畳み作業、働くことについての質問をして、利用者の方々に答えていただき、和やかな雰囲気で就業体験学習を終えることができました。全学年、事前に学校で取り組んだこともあり、初めての場所や環境が変わっても落ち着いて、時間いっぱい作業活動することができ大変立派でした。事業所の方からもお褒めの言葉をいただきました。

その後の昼食や買い物学習でも、自分が食べたいメニューと買いたい物を事前に決めてことで、計画的に活動することができました。事後学習では、自分が楽しかったことや、質問したことをまとめ、一人一人の思いを発表することができました。

(文責:学部主事 山崎)



「高等部の様子」

9月11日（木）に校外学習として、大野農業高等学校との交流及び共同学習と、イオン上磯店での外食体験や買い物学習を行いました。大野農業高校では、6月に播種体験をして大きく育った枝豆の収穫体験に挑戦し、農業高校の生徒と協力しながら作業を進めました。よりよい収穫の仕方や質の良い枝豆の見分け方などを教えてもらう中、お互いの緊張感も徐々にほぐれ、交流を深めることができました。その後、牛舎に移動し、乳牛を間近で見たり、餌やりをしたり、農業高校産の牛乳を使ったアイスクリームの試食もさせていただいたりなど、五感を存分に使った、充実した体験と交流を行うことができました。

昼からは、イオン上磯店に移動し、フードコートで昼食をとりました。今回は、自分でレジに並び、食べたいメニューをその場で注文する活動を行いました。午後の買い物学習でも、自分で予算を考えながら商品を選び、レジでの支払いにも挑戦しました。公共の場でのマナーや金銭管理を学ぶ良い機会となり、それぞれの生徒が主体的に行動する姿が見られました。



（文責：学部主事 山田）

「おしまたんぽぽ会」総会・親睦会が行われました！

8月1日（金）に、第16回おしまたんぽぽ会（卒業生と保護者の会）総会及び親睦会が行われました。今回は、卒業生と保護者13名、旧職員4名の方に御参加いただきました。

総会では事業報告や会計監査報告、次期の事業計画についての議題がありましたが、参加した会員の皆様の御承認をいただき、スムーズに会が進行しました。また今回、三役の改選があり、永らく三役として御尽力いただきました会長 江繫静香様、副会長 山本真琴様、監査 沢田幸代様が退任となり、新たに、会長 中村順子様、副会長 鳴海有紀子様、監査 近藤弘子様が就任されることとなりました。



総会後は親睦会を行いました。近況報告では、会員の皆様からお一人ずつ現在の暮らしのエピソードや分校に通っていた時代の思い出話などが発表され、相互の交流を深めることができました。近況報告の後は、恒例のボッチャを行いました。副校長先生チームと教頭先生チームに分かれて2ゲームを楽しむことができました。会員様、保護者様、旧職員が混ざってのチーム戦は一投ごとに歓声があがるほどの盛り上がりでした。その後、恒例の分校の歌を参加者全員で歌い、記念の集合写真を撮影して終了となりました。

たんぽぽ会の活動は年に一回ですが、昔を懐かしんだり今の状況を交流し合ったりする機会として、とても意義ある活動になっています。今後も工夫を重ねながら会を継続していくければと願っています。

（文責：おしまたんぽぽ会事務局 郡川）





10月10日 目の愛護デー

文部科学省は、「令和6年度学校保健統計」の調査結果で、“裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれて高くなっています。小学校で3割を超えて、中学校で6割程度、高等学校で7割程度となっている”と発表しました。小中高いずれも年々増加傾向であるという結果でした。

視力が低下する原因には、スマートフォンやタブレットの普及によるスクリーンタイムの増加や、子どもたちの屋外活動が減少していること、睡眠時間の減少などがあげられます。

近視によって一度低下した視力は、回復させることができません。そのため、子どものうちから視力低下を予防することが大切です。

視力低下予防のために日常でできることを紹介します。



- ・外に出て太陽の光を浴びて活動する。
 - ・タブレットやゲーム機を使用する場合は30cm以上離し、こまめに休憩をして目を休める。
 - ・部屋を明るくする。
 - ・質の良い睡眠をとる(タブレットなどは、寝る1時間前までに使用を終える)。
- 今日から簡単にできることばかりです。
ぜひ実践して視力低下を予防しましょう。

保健室前の掲示物（目の運動）

(文責：養護教諭 坂本)

11月12月の予定

月	日(曜日)	行事	月	日(曜日)	行事
11月	15日(土)	学習発表会	12月	5日(金)	石別小との交流及び共同学習(小)
	17日(月)	振替休業日		11日(木)	石別中との交流及び共同学習(中)
	21日(金)	PTA 茶話会・役員会		18日(木)	トラピスト通り並木道ライトアップの見学
	25日(火)	外部団体による食の指導		24日(水)	2学期終業式
	27日(木)	校外学習(高)			
	28日(金)	調理学習(中)			

※今後、行事が変更になることがあります。その場合は早めにお知らせします。